

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア サ カ 理 研
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 田 慶 太
 (コード番号 : 5 7 2 4)
 問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 鈴 木 忍
 TEL. 024-944-4744(代)

業績予想の修正についてのお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年11月13日に公表した平成22年9月期第2四半期連結累計期間（平成21年10月1日～平成22年3月31日）及び通期（平成21年10月1日～平成22年9月30日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年9月期 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期連結累計期間（平成21年10月1日～平成22年3月31日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,752	45	33	16	6円45銭
今回発表予想(B)	5,500	140	116	59	23円43銭
増減額(B-A)	747	94	82	43	-
増減率	15.7%	206.2%	242.2%	260.3%	-
(ご参考)前期実績 (平成21年9月期第2四半期)	4,344	40	86	194	78円84銭

(2) 通期（平成21年10月1日～平成22年9月30日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	10,179	240	215	109	42円55銭
今回発表予想(B)	11,658	382	343	162	64円63銭
増減額(B-A)	1,479	141	128	53	-
増減率	14.5%	58.8%	59.9%	48.8%	-
(ご参考)前期実績 (平成21年9月期)	8,836	138	65	12	4円84銭

2. 修正の理由

以下に修正の理由を記載いたしますが、第2四半期連結累計期間、通期のいずれの修正も同様の理由によるものです。

わが国経済は、世界各国での景気対策の影響や、新興国を中心とした景気回復を背景に、輸出や生産に持ち直しの動きが見られます。しかし、内需型企業の収益や設備投資は低迷しており、雇用情勢も改善しないことから個人消費が振るわず、全体としては、依然として厳しい状況が続いております。

一方、当社主力製品である金をはじめとする貴金属や銅の価格については、徐々に回復し、金については、数年来で最も高い水準にまで、大きく上昇しております。

これらの状況を踏まえ、当初の見通しを修正させていただきますので、その主な要因をご説明いたします。

・売上高について

(1) 貴金属事業

金の価格については、当初2,800円/gと想定しておりましたが、当期前半においては、想定を上回る水準で推移しました。第2四半期中には、3,000円~3,400円/gで推移しており、当期後半においてもこの水準を維持するものと見込み、当期後半の金価格を、3,200円/gと想定いたしました。

また、電子部品・デバイス工業分野の生産においては、最悪期を脱し、業種によっては急落前の水準にまで回復してきております。当期前半における主要製品の取扱い数量は、好調に推移し、当初計画を上回りました。当期後半も、同様の水準で回復を維持するものと見込んでおりますが、先行きの不透明感は依然として強く、予断を許さないものと判断しております。

以上の要因による、売上高への影響額は、第2四半期連結累計期間で、764百万円の増加、通期で1,544百万円の増加となる見込みです。

(2) 環境事業

銅の価格については、当初540千円/tと想定しておりましたが、当期前半においては、想定を上回る水準で推移しました。第2四半期中には、630千円~750千円/tで推移しておりますが、非鉄金属需要の減少や、為替が円高に振れる懸念もあることから、当期後半の銅価格を、640千円/tと想定いたしました。また、製品の販売数量では、主力の塩化第二鉄液及び銅ペレットについて、当初計画を上回る見込みです。

一方、一部のエッチング液や新規事業である水処理用ろ過材などの販売においては、想定よりも振るわず、売上高の減少要因となっております。

以上の要因による、環境事業全体での売上高への影響額は、第2四半期連結累計期間で1百万円の減少、通期で38百万円の減少となる見込みです。

以上のことから、連結売上高については、第2四半期連結累計期間で、5,500百万円、通期で11,658百万円となる見込みです。

・利益について

利益につきましては、特に貴金属事業において競合との競争が激化しており、厳しい事業環境となっておりますが、上述の貴金属及び銅相場の上昇による売上高の増加や、コスト低減等の影響により、連結営業利益は、第2四半期連結累計期間で140百万円、通期で382百万円、連結経常利益は、第2四半期連結累計期間で116百万円、通期で343百万円となる見込みです。当期純利益については、第2四半期連結累計期間で59百万円、通期で162百万円となる見込みです。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上